

2016 海域港湾空港

技術報告会 in 福岡

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は土木学会等から高い評価を得ている全国の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2016年2月29日(月)

13:30~17:55 (13:00 開場)

場所 ホテルセントラータ博多 3階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街4-23 TEL : 092-461-0111

問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課

(担当：坂本、仲、松本)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅前東2丁目10-7 福岡第二合同庁舎

TEL 092(418) 3380

FAX 092(418) 3032



世界文化遺産 軍艦島



横浜港南本牧ふ頭



敦賀港全景

地盤工学会 CPD プログラム 認定 (申請中)

主催：九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催：(公社)地盤工学会九州支部、九州大学学術研究・産学官連携本部、(一財)沿岸技術研究センター、(一財)港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭(株)、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾技術コンサルタント協会、九州港湾空港建設協会連合会



2016 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

プログラム

<司会> 岩佐 茜(九州地方整備局 港湾空港部)

13:30~13:35 開会挨拶 藤井 元生(九州地方整備局 副局長)

第I部 基調講演

13:35~14:00 世界遺産 端島炭坑遺構の残る軍艦島 - 天川(あまかわ)を用いた護岸の現状と課題 -
善 功企(九州大学 特任教授、NPO 法人研究機構ジオセーフ 理事長)

第II部 全国の先進的土木技術の紹介

14:00~14:25 横浜港南本牧ふ頭MC3コンテナターミナル整備事業-日本最大水深のコンテナターミナル整備-
<平成26年度土木学会技術賞(IIグループ)><平成27年度日本港湾協会技術賞>
今井泰男(関東地方整備局 京浜港湾事務所 所長)

14:25~14:50 敦賀港防波堤復旧と再度災害の防止対策
<平成27年度日本港湾協会技術賞>
吉田 忠(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所 所長)

14:50~15:10 <休憩>

第III部 産学官の技術展望 <司会> 松尾 晃成(九州大学学術研究・産学官連携本部 助教)

15:10~15:30 細粒分の多い浚渫土砂を活用した人工干潟のアサリ生息場としての適応性
平澤充成(九州大学 工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

15:30~15:50 棧橋コンクリート上部工の塩害に関する研究の歴史と現状
濱田秀則(九州大学 工学研究院社会基盤部門 教授)

15:50~16:10 大水深防波堤における潜水災害リスクを低減する機械化施工について
進藤琢磨(九州地方整備局 宮崎港湾・空港整備事務所)

16:10~16:30 <休憩>

16:30~16:50 コンテナターミナル照明のLED化について-【phase2】ガントリークレーン照明のLED化実験-
日吉一洋(博多港ふ頭株 整備技術部 部長)

16:50~17:10 博多湾の窪地埋戻しについて
山本倫也((一社)日本埋立浚渫協会九州支部推薦:東亜建設工業(株)北九州営業所 工事課長)

17:10~17:30 浚渫工事に伴う油圧圧送船による改良土の施工について
吉田秀利(九州港湾空港建設協会連合会推薦:九州総合建設(株) 工事課長代理)

17:30~17:50 漂流ゴミ移動予測シミュレーションモデルの構築と衛星通信対応ブイによる検証
馬込伸哉((一社)港湾技術コンサルタンツ協会推薦:三洋テクノマリン(株) 数値解析室長)

17:50~17:55 閉会挨拶 江頭 和彦(博多港ふ頭株 相談役)

(18:10~ 意見交換会 於同場所、会費 5,000 円、要事前申込)

※プログラムの内容は、今後、変更する場合があります。